

平成29年度総会議事録

開催場所	湖山西地区公民館 研修室		
開催日時	平成30年5月19日午後14時00分		
会員総数	20名		
出席会員数	16名 内訳	本人出席	6名 委任状提出 10名

1. 開会挨拶

スミス理事長により開会の挨拶があった。

2. 議長選出

会員谷尾洋介氏が議長に選出され、定款の規定により総会定数を満たしたので会が成立した旨を告げ、議案の審議に入った。

平成29年度事業報告

3. グリーンスポーツ鳥取の活動内容、行政関係

スミス理事長より以下の報告があった。

- ① 年度当初の計画に沿って、サッカー、ラグビー、ホッケーの地域密着型のクラブの活動の場を提供し、その活動を支えることができた。
- ② 地域住民が企画するイベントの会場としての利用も完全に定着し、芝生に対する理解を全般に深める役割を果たした。地元グランドゴルフ同好会の要望に対して第3グラウンドの維持管理を行った。
- ③ 県教育委員会との指導助言活動は継続中。大きな問題もなく、今回は西部地区での落札業者が変わった。鳥取市教育委員会は小学校の芝刈り回数を月2回に減らしており、改善する方向で継続して努力する。
グリーンフィールドの整備及び校庭・空き地の芝生化支援活動

中野理事より以下の報告があった。

- ④ グリーンフィールドは昨年とほぼ同じ肥料と芝刈りで管理した。第2については、砂地の芝生畑(1,000㎡)を切り芝収穫可能な状態まで育成した。少年サッカー場として利用予定の部分には十分な肥料・芝刈りを実施した。第3は昨年植え付けたティフトン苗は8月までにほぼ全面に広がったので、9月以降の肥料は省略し、芝刈り作業の負担を軽減した。

芝生化支援事業

29年度も県内外の新規及び既存の芝生化事業に深く関わり、鳥取県や日本サッカー協会を初めとする全国多数の自治体や組織に対し継続的に「鳥取方式®」の芝生化に関する技術提供もできた。

- ⑤ 鳥取県内及び全国各地の保育園、幼稚園、小学校、公園、運動広場、空地の芝生化事業に対して、夫々の芝生化計画について最適の芝生の種類、散水設備(スプリンクラー配置)、年間維持管理マニュアルを提案・指導助言を行うと共に、サポートネットワークを通じての芝生化・維持管理に関する問合せに対して、それぞれ回答した。(2017年1月～12月まで約90件)
- ⑥ 鳥取県地域振興部スポーツ課「平成29年度鳥取方式®の芝生化推進事業」として東部は保育園1ヶ所、中部は保育園1ヶ所、西部は保育園2ヶ所、東部の小学校1ヶ所、計5ヶ所の芝生化支援事業及び芝生維持管理・技術指導を行なった。また、「スポーツ課が園庭・校庭の芝生化、維持管理等実態調査アン

ケート」を行い、計画通り維持管理ができていない所が多かった。

- ⑦ 鳥取市都市整備部都市計画課「公園・広場芝生化実験：裸足で遊べる公園づくり」では 21 年から継続して芝生化をしており、29 年度は美保公園ゲートボール場を含め 9 ヶ所 10,800 m²芝生化された。
- ⑧ 日本サッカー協会「JFA グリーンプロジェクト」として、場所の選定・指導を行っている。全国 28 箇所の保育園・幼稚園・小学校やグラウンドにポット苗（合計 113,900 m²）が寄贈された。
- ⑨ 全国各地の芝生化事業の状況としては、愛知県西尾市では（保育園 7 園 4,550 m²）、滋賀県近江八幡市（保育園 1 園・小学校 1 校 8,820 m²）、滋賀県東近江八幡市（保育園 2 園・小学校 1 校 10,200 m²）、滋賀県湖南市（幼稚園 1 園・小学校 1 校 8,000 m²）
- ⑩ 芝生化事業及び維持管理の指導助言として、鳥取県立学校（高等学校 12 校・養護学校 5 校）、愛知県西尾市保育園・小学校（保育園 31 園・幼稚園 3 園・小学校 3 校）
- ⑪ その他、「インターネット利用による我が国の小学校の校庭緑化の実態調査」日本芝草学会春 2017 年度春季大会ポスター発表、「鳥取方式[®]による芝生化で健康な人づくり、街づくり」として月刊不動産流通 2 月号に掲載した。

EASEフットボールクラブ

田中理事欠席の為ニール理事長より下記の報告があった。

29 年度もパルチーダ、ヴァモス、ヴィオレ女子、フットサル・ミストゥーラは会員数が安定しており、例年どおりの成績を残している。

湖山ラグビーフットボールクラブ

岩下さんより以下の報告があった。

- ① 活動期間は 9 月～翌年 4 月となっている。9 月は個々のオーミングアップ、本格的な練習は 10 月から土曜日 19:00～、日曜日 14:00～で行われた。29 年度も鳥取大学の学生だけでなく、鳥取西高校のラグビー部と合同練習を行う事ができ、人数をできるだけ増やし、楽しい練習を行う事ができた。参加メンバーが少なく試合の設定が難しい状況が続いている。しかし、他のチームの試合に声をかけてもらい参加するなどして、ラグビーを楽しむ機会を増やしている。
- ② ジュニアの活動については、少ないながらも参加者が楽しく練習を行っている。練習は土曜日 10:00～、日曜日 14:00～で行われ、どちらでも都合の良い時に参加してもらえよう設定した。日曜日の参加者が多かった。参加した大会はタグラグビーサントリーカップ鳥取予選（倉吉）1 試合であった。

エレンシア湖山ホッケークラブ

平木さんより以下の報告があった。

- ① メンバー大人 8 名、高校生 4 名で活動している。毎週土曜日 15 時～17 時グリーンフィールドで練習を行なった。前年度と同じような取り組みでしたが、メンバー不足のため試合ができませんでした。個々に他のチームに加わり試合に参加しました。大会としては、9 月-「鳥取ホッケーフェスティバル」、11 月-「TOTTRI わくわくホッケーフェスティバル」

4. 決算報告

事務局太田より、平成 29 年度の決算報告があった。

29 年度は黒字決算との報告があった。

5. 会計監査報告

法人監査井上氏より「諸帳簿及び証拠書類を監査した結果、適切かつ正確に処理されていることを認める」との報告があった。

6. 質疑応答・承認

質問及び異議もなく、29年度の事業報告ならびに決算報告及び監査報告が、満場一致により承認された。

平成30年度事業計画案

1. 芝生化支援事業の見通し等
 - ① 今までの方針を継続して、当法人の目的である地域密着型スポーツクラブの育成及び地域樹木の生活の中の「芝生の広場」の利用を通じての町づくり促進や青少年の健全育成のため、芝生広場を維持管理すること。また、グリーンフィールドで実施している「鳥取方式®による芝生化」を鳥取県内外の自治体、日本サッカー協会を含む競技団体やスポーツクラブに対して空地、公園、保育園の園庭、スポーツグラウンドの芝生化の支援活動を通じて、「鳥取方式®」の正しい普及に努めること。
 - ② 鳥取市都市環境課「公園・広場芝生化実験：裸足で遊べる公園づくり」として、重箱公園など3箇所(7,000㎡)行う予定。
 - ③ 日本サッカー協会「JFA グリーンプロジェクト」全国の保育園、小学校、グラウンド等29ヶ所(124,158㎡)ポット苗を寄贈予定。
 - ④ 鳥取県地域振興部スポーツ課の鳥取方式の芝生化促進事業(保育所・幼稚園・小学校の園庭芝生化事業)について要望のある保育園・幼稚園・小学校の芝生化を30年度も行う。30年度は保育園を2園行なう。
 - ⑤ 全国各地の芝生化事業の状況は、愛知県西尾市(保育園1,100㎡)、滋賀県近江八幡市(小学校1、1,300㎡)、滋賀県東近江市(保育園3、小学校1、合計14,200㎡)、群馬県慶友整形外科病院(20,000㎡)、木更津市多目的グラウンド(6,000㎡)など行う予定。
 - ⑥ ポット苗の生産と技術指導を鳥取県、滋賀県、備前市、敦賀市で継続して行う。
 - ⑦ グリーンフィールドの維持管理については、第Ⅰは例年とほぼ同一の管理とする。第Ⅱは砂地の芝生畑(1,000㎡)を切り芝収穫可能な状態とするとともに、サッカー場として利用予定の部分は十分な施肥・芝刈りを実施し、ターフの充実を図る。第Ⅲはグラウンドゴルフの利用状況を見ながら、施肥と芝刈りを行う。
 - ⑧ その他、「鳥取県における街区公園の芝生維持管理の実践」と題し、日本芝草学会春2018年度春季大会で研究発表の予定。
3. EASEフットボールクラブ
サッカーにおいては、県内外のチームと交流試合、県外遠征等積極的に活動する。多くの県内外のチームと交流する。フットサルにおいてはミストウラ主催のリーグ戦を開催する。グラウンド整備を行いより良い環境づくりに努める。
4. 湖山ラグビーフットボールクラブ
30年度も地道に週2回の練習を行うと共に人数を増やしたい。学校のクラブの人が参加してもらえないかと思っている。2019年のワールドカップに向けて何かイベントができれば良いと思う。ラグビーのパッケージを作ってくれればアピールしやすくなる。
6. 自治会との連携
湖山西自治会長より、今日まちづくり協議会で北岸清掃北岸清掃を行いました。グラウンドゴルフの練習をしている人を見かけたので、第Ⅲグラウンドも利用できることを伝えました。と報告があり、県道側3分の2はグラウンドゴルフとして使える状態になっているので利用してほしい。グラウンドゴルフで利用し

てもらった方が芝生の状態が良くなると中野理事より説明があった。

7. 28年度の予算案

決算同様に平成30年度の予算案が非営利活動・収益事業別に提出された。

8. 質疑応答・承認

GSTの活動についてではないが、大分県のラグビー会場の芝は今までと違った感じに見えますが、どうなっているのでしょうか。と質問があり、あれは人工芝ではなく、ファイブリットと言い海外では主流になってきている芝生と回答があった。その他の質問及び異議はなく、満場一致により承認された。

9. 議事録署名人

議長は、出席している会員の中から議事録署名人を指名したい旨を述べ、これを議場に諮ったところ、満場一致で、次の者を議事録署名人に指名した。

会員	ニール スミス
会員	中野 淳一

以上で本日の議事を終了し、議長は午後3時15分に閉会を宣した。

10. 議長解任

決議事項等が終了した為、議長が解任された。

11. その他

閉会の挨拶

スミス理事長より、5月に世界を旅する冒険家の八幡暁氏が海篇路・鳥取篇として淀江港から岩美町東浜までシーカヤックで来られていた。これにスミス理事長と福浜理事が15日参加した。鳥取方式®の芝生化全国サポートネットワークのシャツを着て参加したら、サポートネットワークの意味を聞かれた。県、市、鳥取青年会議所と民間NPOで結成されていると説明した。

最後に、スポーツ課で実施したアンケートの結果を見ると、草を刈れば芝生になるという認識が薄いので、草取りは要らない、草だけの芝生があるということも広めていきたい。

との挨拶で、総会を閉会した。

平成30年5月19日

特定非営利活動法人グリーンスポーツ鳥取年次総会において

議長

八尾洋介



会員

スミス



会員

中野淳一

